

10年後の環状線供用率67.2%

6次総での目標値・・・現在61.8%

2017年度から2026年までの10か年計画を決める第6次総合計画において、1978(昭和53)年度から建設が始まった3・3・1環状線(7,680m)は、38年過ぎた現在、供用済率61.8%ですが、10年後の目標は67.2%と示されています。

3・3・1環状線を含む沼田市における都市計画道路については、1976(昭和51)年に都市計画決定されていますが、計画の中心となる環状線の建設が進まず、このままでは50年たっても完成できません。

現在建設されている栄町工区や今後残されている東西原新町工区も4車線で計画されていますが、人口減少社会に向けて2車線で充分と思います。

現在建設されている栄町工区や今後残されている東西原新町工区も4車線で計画されていますが、人口減少社会に向けて2車線で充分と思います。



今後工事が進む栄町工区交差点

市営住宅戸数は17戸減少へ

本市の市営住宅は老朽化が進み、現在では、7団地についてすでに募集が停止されています。計画では、老朽化した住宅の取り壊しを進め、住宅団地の統合や用途廃止を行ない、建て替えを実施していくということですが、住宅総数は、現在の400戸から383戸へ減少する計画です。



老朽化し募集停止している市営住宅

街中区画整理は目標値示せず

中心市街地地区土地区画整理事業は、1998(H10)年から2013(H24)年までの事業期間の計画で始まりましたが、計画通りに進まず現在でも計画の約半分程度しか進んでいません。



上之町南地区に移転した生方文庫と貯蓄銀行

現在では事業期間も大幅に延長され、2024(H36)年度までとなっています。2026年度までの6次総と殆ど重なりますが、現在の事業方法だと事業計画期間内に完成させる予定が立たないと思われるので、10年後の目標値も目途が立たない状況ではないでしょうか。区画整理事業は事業が進んだ上之町地区を見ればわかるとおりすべての住宅が新しい区画になった土地に建て替えられています。古い町並みはなくなってしまうということです。「真田丸」人気で外来者が増えています。今後につなげていくには「城下町」の名残を生かしたまちづくりが必要ではないでしょうか。

人口減社会にどう対応していくか

市議会議員研修会を実施

19日、群馬県市町村会館大研修室において、群馬県市議会議長会主催の「議員研修会」が、開催されました。

研修内容は、「人口減少社会における地方のあり方」と題して石原信雄元内閣官房副長官が講演しました。



石原氏の講演を聞く市議たち

2016年8月28日

No.805

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983

☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料